

応募作品

回顧する 過ぎた人生 日記帳

足跡へ 悔いのないよう 句集編む

開封に 飛び出た薬 逃がさない

お宝が ずっと側に 六十年

歯も耳も 達者が宝 高笑い

無事に過ぐ 一日一日が 宝物

健康は 自分で作る 宝物 (入選)

健康が 無二の宝と 胸を張る (副広域連合長賞)

百迄と 二人元気で 薬飲み

薬より 孫の見舞いが 宝物

初曾孫の お初節句めでたし 令和の日

「愛の歌」 派手な衣装は 米寿です

孫からの 優しい手紙 宝物 (広域連合副議長賞)

我が宝 それは命と 言いたいね

恵まれし 体力蓄わえ 歳かさね

つとめ終え 苦楽を分ける 友が居る (入選)

偶に逢う 孫の笑顔は 宝もの





終活し 孫にのこした 宝物

婆々と行く 旅楽しみが 宝かな

孫娘夫 雨を凌げる 家もあり

半世紀 おれの足跡 今日も記す

支え合う 一家団欒 宝物

両指の 曲るも亡母からの 贈り物

ごつごつと いもころがり出て 風笑う

闘病の 夫支える 介護録

食卓を 皆んなで囲む 今日も又

八十路中 甘えたくなる 孫の腕

好奇心 まだ衰えず 星座表 (入選)

傘寿坂 健康という 宝物

積年の 財の一位だ この命

旅立った 愛犬唯一の 宝物

健康が私の 宝物なのだ

老いて知る 健康という 宝物 (入選)

宝もの 臓器がまめで 無事令和



方言は たっぷり会話の 中にあり

赤の色 老醜を隠す 宝物

健康法 100を切るツボ 足と腰

擦り切れた 靴捨てられぬ 汗の過去

オイと呼ばば 「なあに」と答える 宝物

保険証 余生はぐくむ 宝船

老令の よき友となる 保険証

明日もまた 元気で集い 笑顔会う (広域連合長賞)

捨てられぬ 苦楽を日記に 五十年 (入選)

初詩集 「阿吽」と名付け 仁王門

時代間 どこまで見つめる 目の高さ

年老いて 丈夫なからだと 好きな趣味

幸は 1に健康 2に宝

全優の 母が残した 通信簿

晩年を 迎えた思い 書きのこす

お宝を あえて言うなら 古女房 (入選)

身の程の 暮らし達者が 宝物 (広域連合議長賞)



五十代 家族と踏破 剣が峰

金銭に 勝る健康 宝物

生きて来た 我が人生が 宝物 (入選)

九十才 フルーツマラソン かんそうし

三冊の 川柳句集 わが命

ダイヤより 母の手垢の 五円玉

価値なくも 己に勝る 宝なし

二の足で 歩ける幸を かみしめる

毎日の 活力もらう 田や畑

隣家の娘 萬事気使い 日々感謝

一病を 宝に捉え 今を生き (入選)

さまざまな 人生探る マイ読書

新聞紙 ごみ入れ覚え 人助け

生活で 医療費減の やりくりを (入選)

聴の無き 世を喜々として 義母の生く

誓い合う 結んだ紐が 消えぬよう

いぶし銀 光る歴史の くすり指 (入選)



心身の 健康づくり 趣味ひとつ
ありがたや 無病息災 わが宝
ばあば呼ぶ 孫の一声 宝物

